

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	キャリアプランニング4	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	内容に応じて資料・プリントを配布する。キャリアサポートブック				
担当教員情報					
担当教員	田中朋子/島立麦人/富樫咲子/小峰建/吉野雄一郎/山下顕治			実務経験の有無・職種	無
学習目的					
この科目を受講する学生は、ひとりひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を通して、キャリア発達を促すことが出来、また一定又は特定の職業に従事するために必要な知識、技能、能力や態度を育てることを目的とします。自己分析やグループワークを通して、自身の意見を発言することや、他人の意見を聞き入れ、まとめることが出来るようになることを目的とする。					
到達目標					
この科目では、卒業後、就業する職業に特定されることのない社会人としての考察力や人間力を身につけることが出来る。社会で働くことについての自身の姿勢・態度は身につけた知識・技能と共にどうあるべきか、その考え方を身につけることが出来る。自身の考えを基に人にどう伝え、どう理解を得るのかを考え、他人の意見を聞き、自身の中での理解をしたうえで、肯定・否定の意見をまとめたうえで、述べ、相手に自身の考えを伝えることが出来るようになる。					
教育方法等					
授業概要	自己分析を通して、自身が今まで経験し身につけてきたこと、課題に取り組み、問題解決をしてきたことを、改めて明確にし文章として書きだせるようになることや、グループワーク・ディスカッションを通して、他人の話すことを聞き、自身の意見を発言し肯定・否定の両局面から問題をみて、まとめる。時事問題などへの取り組みをし、社会への視野を広げることを目指す。				
注意点	この授業では学生自身が積極性を持って、授業の中での取り組むことを重視する。グループワークでは他者の発言を直ぐに否定せずに、まずは聞き入れることから始める。多数決や消去法によって意見をまとめるのではなく、各自が話し合った内容をもとに討議を取ることを求める。また普段から時事問題への興味を持ち、情報収取をする姿勢が大切である。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	定期的に出される課題への取り組みと、その内容に対しての評価をする。		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	50%	出席点		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	キャリアビジョン計画	年度初めに立てた行動計画を振り返り、現状を踏まえ、行動計画を修正、更新する			
2回	筆記試験の種類と対策	筆記試験の種類と傾向を知り、筆記試験攻略ができるよう準備する			
3回	面接の種類と選考対策	個人面接、集団面接、グループディスカッションで各々に関して人事が評価するポイントを知る			
4回	面接の流れへの理解	会場に着いてから退室するまでの面接の流れ、またチェックされるポイントを知る			
5回	面接者の視点への理解	面接内での質問①志望動機、②協調性、③態度・心構え、④人柄で評価される視点を知る			
6回	個人面接実践	個人面接チェックポイントをもとに、個人面接を想定しペアワークでロールプレイングする			
7回	グループ面接実践	グループ面接チェックポイントをもとに、グループ面接を想定しグループでロールプレイングする			
8回	時事問題への取り組み3	面接で課題として想定される時事問題をテーマにディスカッションする（グループワーク）			
9回	内定を受け取り方／内定辞退	内定に対するお礼や事務処理の仕方を知り、内定辞退の重さを理解する			
10回	社会人になるための知識1	お金についての理解を深めるため、初任給・税金・保険などの中身について理解する			
11回	社会人になるための知識2	仕事に対する3原則を理解し、自身で考え、判断し、行動できるようになる			
12回	社会人になるための知識2	礼節、心構えを再度確認し、敬語の使い方、相手との距離感、尊敬の念を理解する			
13回	社会人になるための知識2	外部関連企業との連絡、報告・連絡・相談、チームワークについて理解する			
14回	社会人になるための知識2	時間の使い方におけるプライベートの充実と勤務時間業務の管理処理能力、向き合い方を理解する			
15回	2年間の総まとめ	2年間の学生生活を振り返り、社会でのなりたい自分や目標を再確認する			